

平成28年度進行管理・評価シート
向日市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成27年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 向日市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法に基づく連携	2
2 景観法に基づく連携、屋外広告物に基づく連携	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 大極殿整備計画事業	4
2 史跡等公有化事業	5
3 歴史的建造物(須田家住宅)活用事業	6
4 歴史的建造物(富永屋)活用事業	7
5 歴史的石碑・常夜燈保全活用事業	8
6 西国街道整備事業	9
7 竹の径景観保全事業	10
8 長岡宮跡周辺道路美装化事業	11
9 向日神社周辺整備事業	12
10 歴史資源回遊性向上施設整備事業	13
11 情報案内板設置事業	14
12 長岡京・平安京連携事業	15
13 長岡京広報・PR事業	16
14 向日市文化資料館企画展示実施事業	17
15 発掘調査説明会事業	18
16 歴史資源調査活用事業	19
17 市民歴史活動連携事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)に関する事	21・22
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関する事	23
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組に関する事	24・25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	26・27
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
「第1回 向日市ふるさと検定」実施	28

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	29
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
向日市歴史的風致維持向上協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	「向日市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。 本計画の実現に向けて、市長公室広報・ふるさと創生課、建設産業部都市計画課及び教育部文化財調査事務所が事務局となり、庁内関係各課で組織されている「向日市歴史まちづくり庁内推進会議」において、計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
学識経験者、地元関係団体、行政(国、府、市)により構成される「向日市歴史的風致維持向上協議会」を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業内容について意見を聞くことができた。開催回数 2回		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
平成28年6月3日(金) 平成28年度第1回向日市歴史的風致維持向上協議会開催 【内容】(1)向日市歴史的風致維持向上計画 平成27年度進行管理・評価シートについて (2)平成28年度実施事業について		
		
平成28年度 第1回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子		
平成29年3月24日(金) 平成28年度第2回向日市歴史的風致維持向上協議会開催 【内容】(1)向日市歴史的風致維持向上計画 平成28年度進行管理・評価シートについて (2)平成29年度実施事業について		
		
平成28年度 第2回向日市歴史的風致維持向上協議会の様子		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
都市計画法に基づく連携		■実施済 □実施中 □未着手	
計画に記載している内容	重点区域の市街化区域には、用途地域、高度地区や風致地区が指定され、建築物の高さの制限が行われており、引き続き良好な市街地環境の保全を図っていく。 将来のまちづくり計画と整合した都市計画道路網となるよう都市計画道路の見直しを行い、その際、道路整備による歴史的資源への影響を確認する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度より3か年で市内都市計画道路全線を対象に都市計画道路網調査を行っており、その道路評価項目の1つに、道路整備による歴史的資源への影響を設け、確認を行った。また、調査では、都市計画道路牛ヶ瀬勝竜寺線のルート変更について調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
景観法に基づく連携 屋外広告物法に基づく連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	景観計画の策定の中で、景観計画区域を市域全域に位置付け、本市の特徴を「歴史的景観」「自然的景観」「市街地景観」の3つに分類し、それぞれの地域特徴に応じた景観形成に努めることとしている。 このうち特に、向日丘陵の自然景観、向日神社や西国街道沿いの歴史的景観、阪急西向日駅周辺の良好な低層住宅地景観などは本市として守っていき、また、良好な景観を形成していくべき地区であることから、「景観重点地区候補地」に位置付けることを検討している。 なお、景観計画は、この歴史的風致維持向上計画の内容を反映したものとし、歴史的風致の維持向上にも期するものとする。 また、屋外広告物は、景観に対する影響が大きいことから、景観計画の中で、屋外広告物に対する考え方を整理し、向日市らしい屋外広告物の施策を調査・研究することとしている。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度に景観計画事務局原案が、歴史的風致維持向上計画の内容と大きく異なる所が無い確認を行った。平成28年度は、その結果に基づき景観計画の見直し方針事務局案の検討を行った。

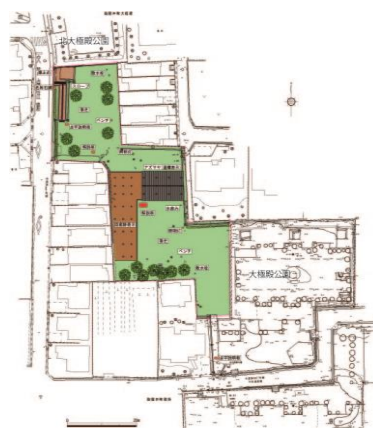
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	景観計画の内容と歴史的風致維持向上計画とのすりあわせを行い、方針や内容について関係課と協議し、整合性の確認を行う。

状況を示す写真や資料等

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度		
項目		現在の状況		
大極殿整備計画事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
事業期間	平成27年度～平成36年度			
支援事業名	文化財保存整備費(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業等) 地方創生加速化交付金			
計画に記載している内容	史跡公有化に伴う大極殿跡などの一体的な保存整備と活用促進を目的として、目に見えない史跡をより体感できるように遺跡表示を整備し、大極殿祭を行う顕彰の場として保全し、維持向上させる整備を行うため、計画を策定し、整備を行う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
史跡長岡宮跡大極殿回廊地区の整備のため発掘調査を実施し、その成果を反映して実施設計を行った。また、史跡長岡宮跡の建物の現地での一部復元のため、計画書と模型を作成した。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				

埋蔵文化財発掘調査を整備実施
(設計に反映)埋蔵文化財発掘調査成果を反映した
整備実施設計図長岡宮一部復元プラン
朝堂院西第四堂 (イメージ)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
史跡等公有化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和56年度～平成36年度

支援事業名 文化財保存整備費(史跡等購入費国庫補助金)

計画に記載している内容 史跡として指定された土地などについて、所有者などと協議、調整のできた区域を公有化し、公有財産として保全・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡長岡宮跡の保存のため、用地 1485.63㎡を取得した。
また、史跡長岡宮跡築地回廊地区・外郭築地地区の用地の買い上げを行い、同地の農家風建物の寄附を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

先行取得した土地
(内裏外郭築地地区)



史跡地で寄附を受けた農家風住宅
(内裏内郭築地回廊地区)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
歴史的建造物(須田家住宅)活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 京都府指定有形文化財に指定されている須田家住宅は、平成3年(1991)に、大規模な改修が行われており適切に保存されているが、一般公開が中断している。須田家住宅について、内部の一般公開に向け利用できるよう、公有化や耐震化などの改修を含め、保存・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

所有者との協議が困難な状況で、一旦業務を中止した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	現状では、事業期間内での達成は困難である。所有者の意向により、事業の継続の有無についても判断する必要がある。

状況を示す写真や資料等



京都府指定文化財 須田家住宅

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
歴史的建造物(富永屋)活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 江戸時代初期にはすでに存在が確認されており、町屋遺構として貴重な存在である富永屋は、現代風改築が著しく、また、老朽化も激しい状態にある。未指定ながら、享保20年(1738)の棟札が残る富永屋について、西国街道沿いのまちなみ景観の保全につながる修景を行い、市民活動や来訪者に対する案内および情報発信する拠点として利用できるよう、公有化や耐震化などの改修を含め、保存・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富永屋の建物の保存活用、整備、公有化等について、協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	所有者との協議の結果、公有化での整備について、事業期間内では達成できないものとし、その他の保全・活用方法について、今後検討を要する。

状況を示す写真や資料等



富永屋 外観



富永屋 内観

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
歴史的石碑・常夜燈保全活用事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市街地開発による急激な環境の変化の中で、道路拡幅などにより位置がずれたり、現代的なまちなみの中に埋もれてしまった街道筋にある石碑や常夜燈について、市民により身近に、親しみを感じてもらえるよう、ポケットパークを活用して適切な場所に配置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現代的なまちなみに埋もれてしまった常夜燈を適切な場所に移設することで、歴史ある街道として再認識することができるようになった。

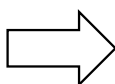
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(整備前)



(整備後)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
西国街道整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 西国街道を通常のアスファルト舗装から、石畳風の道路舗装に改修する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度整備 197.8m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

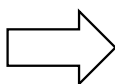
☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(整備前)



(整備後)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
竹の径景観保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金

計画に記載している内容 歴史的資源であるタケノコづくりから出る廃材などを利用し、延長約1.8kmに設置された8種類の竹垣の保全改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度整備 397.4m

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

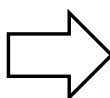
状況を示す写真や資料等

【竹垣の保全の様子】

(整備前)



(整備後)



竹垣の改修の様子

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
長岡宮跡周辺道路美装化事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 史跡長岡宮のそれぞれの遺跡や向日神社などを結ぶ道路について、公共交通機関である阪急西向日駅から史跡長岡宮跡のそれぞれの遺跡や向日神社を結ぶ道路の美装化(カラー舗装など)をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備済 135.1m

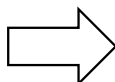
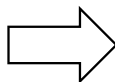
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(整備前)



(整備後)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
向日神社周辺整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 向日神社周辺に周遊しやすい環境を整えることによって、回遊性が向上するとともに、地域の人々の向日神社への愛着が深まり、連綿と続く伝統の保全が図られることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

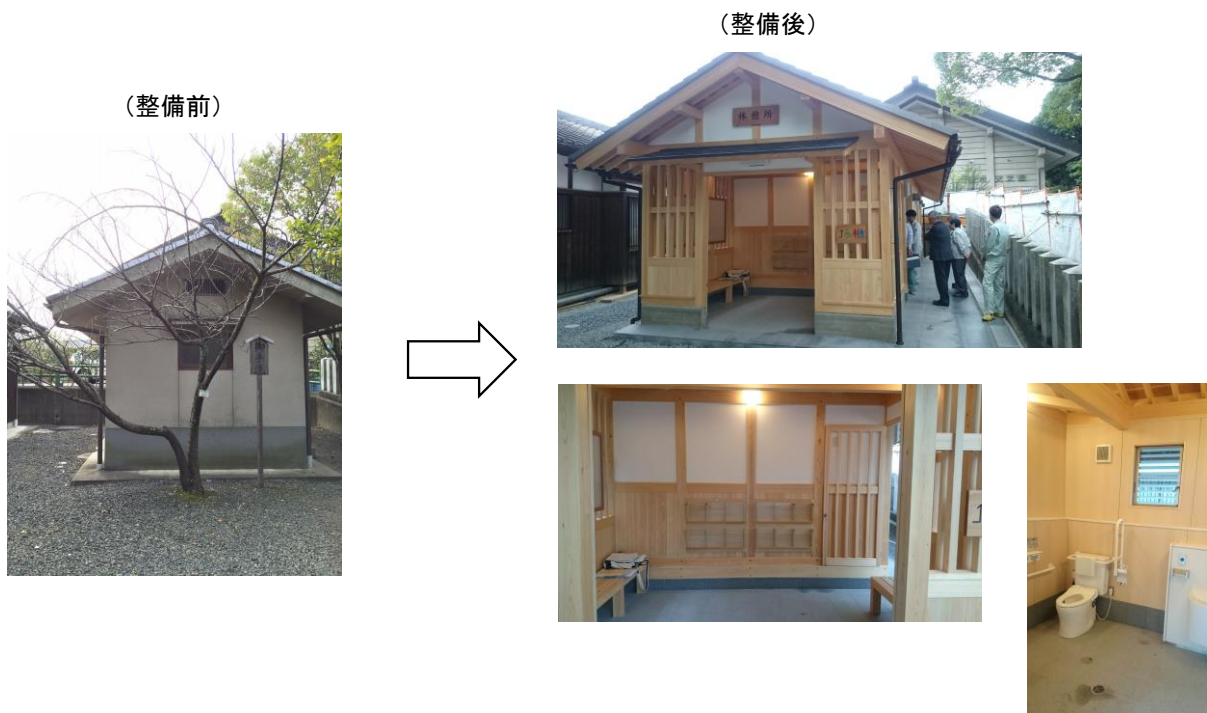
国の重要文化財である向日神社周辺において、回遊性を高めるため、トイレやベンチなどを備えた休憩施設を整備した。

(平成28年11月完成)

完成後は、向日神社参拝者、来訪者の休憩所として利用いただいた。(平成28年11月～平成29年3月の来訪者;約7万人。前年から16%の増加)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
歴史資源回遊性向上施設整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 長岡宮跡などの歴史的風致の所在する区域において来訪者などを受け入れるための機能を備えた施設を整備することで、本市の歴史的資源を巡る回遊性の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致のある地域を周遊するにあたり、市民の方や来訪者の休憩場所、集合場所となるように、トイレなどの施設改修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

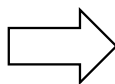
状況を示す写真や資料等

【市民ふれあい広場】

(整備前)



(整備後)



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
情報案内板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～平成36年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 車での来訪者、公共交通機関を利用しての来訪者を歴史的資源の場所へ導くための標識を主要な道路などに設置する。駅前や主要な公共施設などに、歴史・文化資源の位置を示した案内板を設置する。主要な史跡、歴史的建築物や行事などの内容を記した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「向日市歴史文化観光情報板設置計画」に基づき、観光案内板(誘導サイン)を整備した。

設置数：21基(新設17基、更新4基)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

設置した観光案内板(誘導サイン)



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
長岡京・平安京連携事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 長岡京の次に、隣接する京都市に平安京が建都されたことから、共通するそれらの歴史や歴史的風致をキーワードとして、京都市と協働で「竹の径・かぐやのタベ」や歴史巡りウォーキングなど効果的なイベント事業を検討し、実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度実施イベント「かぐやのタベ」「竹結びフェスタ」
参加者数:「かぐやのタベ」約15,000人(2日間開催合計) 「竹結びフェスタ」約10,000人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



<向日市・京都市(西京区)相互交流事業>

平成28年10月15日開催「竹結びフェスタ」

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
長岡京広報・PR事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 長岡京が向日市にあったことを市内外に周知し、認知度を向上するため、長岡宮跡の共通ロゴやPR看板などの作製など、広報PR活動を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

引き続き、公共交通機関を利用した広報や、ロゴマークを活用したグッズ製作を行った。
(平成28年度は、ロゴマーク入りピンバッジを約500個販売)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【ロゴマーク】



ご当地ナンバープレート交付

【公共交通機関を利用した広報】



JR向日町駅看板

ピンバッジ
(1個300円で販売)



阪急西向日駅看板



JR向日町駅構内

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
向日市文化資料館企画展示実施事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和59年度～平成36年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化のまちづくりの中核拠点となる文化資料館において、さまざまな時代における歴史・文化の企画展を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

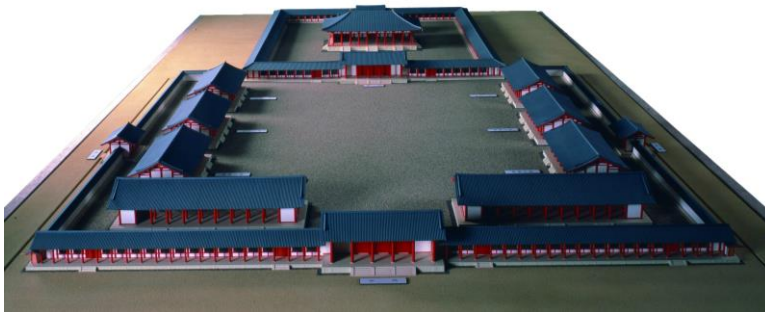
特別展「長岡宮の大極殿・朝堂院」(平成29年3月4日～3月26日開催)
向日市を代表する古代都城遺跡・長岡京跡について、特にその中心となる大極殿・朝堂院に焦点を当て、機能や現代までの変遷をわかりやすく展示した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大極殿・朝堂院模型

宝菩提院菩薩半跏像
(模刻像)文化資料館 特別展「長岡宮の大極殿・朝堂院」
3月4日(土)～3月26日(日)

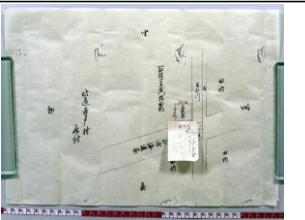
評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
発掘調査説明会事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和52年度～平成36年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	埋蔵文化財の確実な保存・活用を図るため、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに、発掘した成果について説明会を開催することなどによって、必要な情報提供などの支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
説明会において、スマートフォンやタブレット端末から当時の建物の復元CGを見ながら巡るアプリを用意するなどして、埋蔵文化財の確実な保存・活用を図っていくため市民の理解を醸成することができた。 8月11日 史跡長岡宮跡 参加者数110人、10月15日 史跡乙訓古墳群五塚原古墳 参加者305人 1月28日 物集女城跡 参加者数175人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 日時:平成28年8月11日(木・祝) 場所:向日市鶏冠井町大極殿地内 (史跡長岡宮跡 大極殿西・北面回廊地区) 内容:長岡宮大極殿回廊の調査について AR長岡宮で体験する史跡長岡宮跡 参加者数:110人		
 日時:平成28年10月15日(土) 場所:向日市寺戸町芝山地内 (史跡乙訓古墳群 五塚原古墳) 内容:五塚原古墳口縁部西側の調査について 参加者数:305人		
 日時:平成29年1月28日(土) 場所:向日市物集女町中条地内 (物集女城跡地区) 内容:物集女城跡内郭(中心部)の調査について 参加者数:175人		

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度	
項目		現在の状況	
歴史資源調査活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和59年度～平成36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	本市に点在する歴史・文化資源を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、歴史的風致形成建造物などの歴史ある資源に関連する現状調査や歴史資料の調査整理を行うとともに、調査結果を活用し、歴史講座の開催や今後のまちづくりへの活用検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①寺戸庄屋文書(古文書・典籍)＜約3千点＞目録作成・活用整備 ②歴史資源所在調査事業 ・市内の祭礼や講など行事に関連する資料の調査を実施 ・向日市内古文書の調査・整理実施 ③未刊乙訓郡史の活用整備事業 ※①、③については成果を活用した事業を来年度実施予定である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
寺戸庄屋文書調査 文書保管中性紙箱へ収める	寺戸庄屋文書調査風景	寺戸庄屋文書調査 寛永15年(1638)寺戸宮座関係文書	寺戸庄屋文書調査 新発見の築山講 常夜灯の建立時の絵図
			
寺戸千代桜天満宮の調査風景	寺戸千代桜天満宮拝殿内の資料調査	寺戸祭礼関係資料 唐櫃	寺戸祭礼関係資料 白丁衣裳
			
寺戸祭礼関係資料 稚児衣裳揃	寺戸行者講関係資料 木箱	寺戸行者講関係資料 木箱内資料	向日市内古文書調査の整理作業風景
			
未刊乙訓郡誌(史)原本調査風景	未刊乙訓郡誌(史)原本調査風景		

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
市民歴史活動連携事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度から平成36年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 向日市まつりなど本市で開催されるイベントと連携して行われる歴史・文化の市民活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

多くの人が集まる「向日市まつり」と連携して、「古代衣裳ファッションショー」「西岡衆武者行列」を行い、より多くの人に本市の歴史・文化に対する認知と理解を深めることができた。

参加者数:「古代衣裳ファッションショー」48人(幼児6人、小中学生15人、高校生以上27人)
「西岡衆武者行列」32人(こども手づくり甲冑隊15人、西岡衆武将隊9人、その他8人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



古代衣裳ファッションショー 11月19日(土)



西岡衆武者行列 11月20日(日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財調査、指定、保存管理(活用)に関すること		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 重点区域内に存在する指定等文化財について、文化財の周辺環境も含めて保存活用の検討を行い、文化財指定の有無を問わず、文化財を市民の遺産として守り育てるという市民意識の醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

〔調査〕埋蔵文化財発掘調査は長岡京跡ほか11件、詳細分布調査200件を行い、その成果調査報告書を刊行した。(2冊、各300冊)
 〔指定〕史跡長岡宮跡の10度目の追加指定を受け、指定面積が15,686.45㎡となった。また、同追加指定地の先行取得を行った。
 〔活用〕①史跡長岡宮跡の案内解説に加え、ヘッドマウントディスプレイを使ったVR長岡宮の体験会を開催した。
 ②史跡乙訓古墳群5基の古墳について、名称石碑を7基等設置し、除幕式を開催した。
 ③歴史資源デジタルコンテンツ化事業として、物集女車塚古墳を中心としたスマートフォンやタブレット向けのアプリケーションを開発した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

①ヘッドマウントディスプレイによるVR長岡宮体験



②史跡名称標識(石碑)の設置
元稲荷古墳



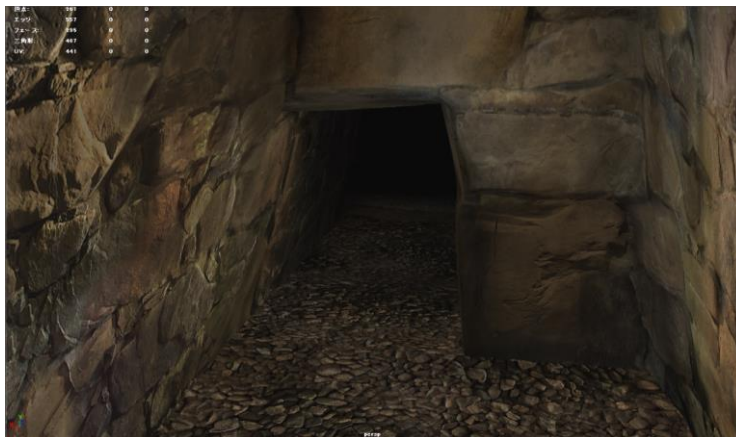
②史跡名称標識(石碑)除幕式
(平成28年10月12日)



②史跡名称標識、既存陶板の変更
物集女車塚古墳



③歴史資源デジタルコンテンツ化事業
物集女車塚古墳の復元 イメージ図



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、文化財の防災に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財は、火災や事故、盗難などにより消滅や毀損すれば、再び回復することが不可能になることがある。 文化財の保存修理（整備）が必要な場合は、文化財の価値を損なうことなく損傷箇所などの修理を行う必要がある。 文化財の所有者・管理者は、文化財の保存修理について深く認識し、施設の維持管理と修繕、周辺環境の整備、日常の保守点検の強化、関係機関との密接な連絡等を徹底し事故等の根絶を図る。 定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で ①文化財の修理事業 未指定文化財 紙本着色 霊心院様之像 1幅 保存修理 市補助金344,000円 ②文化財の防災(防火・防犯) 文化財消防訓練、文化財立ち入り検査を実施 文化財防災設備保守点検補助 向日神社(国指定)200,000円、南真経寺(府指定)19,000円、須田家住宅(府指定)24,000円 ③文化財・防火傍点周知 文化財防火週間看板設置、防火防犯周知徹底通知	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 文化財の修理 (修理後の霊心院様之像)  消火器点検  自動火災報知器点検 文化財立ち入り検査 日時: 平成29年1月23,24日(月,火)  文化財消防訓練 日時: 平成29年1月25日(水) 場所: 南真経寺  文化財消防訓練 重要文化財搬出訓練 同左  文化財防火周知看板		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組に関すること		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 文化資料館等の施設を有効に活用し、企画の充実を図るとともに、関係施設の連携を深め、文化財の資料収集や調査研究を推進するとともに、施設機能の充実と公開活用を行い、一体的な情報発信に取り組むこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 1 文化財の普及啓発の取組(展示、講座、講演会、教室等)
 - (1)文化資料館常設展示「長岡京の歴史と文化」年間入館者数 11,362人
 - (2)史跡長岡宮跡朝堂院公園史跡案内 年間見学者数 7,718人(見込み)
 - (3)物集女車塚古墳石室一般公開(H28.5.24～H28.5.31)参加者数 700人
 - (4)市民考古学講座(6回開催)・関連講演会(1回) 講座参加者数 522人 講演会参加者数 250人
 - (5)発掘調査現地説明会(H28.8.11、H28.10.15、H29.1/28)参加者590人
 - (6)発掘調査スライド大会「スライドで見る乙訓の発掘」(H29.3.5)参加者数 100人(見込み)
 - (7)埋蔵文化財調査成果展示会「みやこの宇都波毛乃(うつわもの)～長岡京の器～」(H28.9.10～H28.10.10)、関係講演会期間中入館者数 869人 講演会参加者数 65人)
 - (8)長岡宮絵灯路(H28.11.12 参加者数280人)
 - (9)文化資料館特別展「長岡宮の大極殿・朝堂院」(H29.3.4～H29.3.26)
 - (10)文化資料館特別展記念講演会
「宝菩提院菩薩半跏像を造ってわかった！特殊な表現技法と桓武天皇の唐への憧れ」(H29.3.4) 参加者 84人
「山背遷都と靈験薬師仏-宝菩提院菩薩踏下像との関係を中心に-」(H29.3.26) 参加者__人
 - (11)歴史講座
第1回「乙訓における戦前の鉄道計画ー新京阪山科線と洛西線ー」(H28.12.4) 参加者数 86人
第2回「初詣は鉄道とともに生まれ育った!?ー鉄道と社寺参詣の近代史ー」(H28.12.18) 参加者数 66人
 - (12)文化資料館ラウンジ展示
「武者人形と天神人形」(H28.4.2～H28.5.29)、「自転車に乗って～増田自転車商会と昭和の向日町」(H28.4.9～H28.5.29)
「むこうし・おとくにの歴史ある風景」(H28.6.4～H28.7.10)、「夏休みこども歴史教室作品展」(H28.7.28～H28.8.14)
「弟国から乙訓へ～地名でたどる歴史」(H28.10.15～H28.11.20)、「観光乙訓事始Part II」(H28.11.26～H29.1.15)
「くらしの道具展」(H29.1.21～H29.3.26)
 - (13)夏休み子ども歴史教室「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」(H28.7.26・27) 参加者数 25人
古代衣裳ワークショップ(H28.8.3・4) 参加者数 80人
 - (14)古代衣裳ファッションショー(H28.11.19) 参加者数 159人
 - (15)歴史ウオーク「明治・昭和の鉄道沿線と西国街道を歩く」(H28.11.26) 参加者数 29人
 - (16)日曜談話会「手紙で読みとく戦争」(H28.8.7) 参加者数 20人
「長岡から西岡へ～地名「長岡」の移動」(H28.10.23) 参加者数 45人
「乙訓名勝案内記」(H28.12.11) 参加者数 32人 都・山崎間の西国街道」(H27.12.6) 参加者数 54人
 - (17)スタンプラリー(史跡めぐり)(H29.2.11) 参加者数 300人
- 2 民間団体への助成・支援
 - (1)国登録文化財中小路家住宅 文化活動補助 40,000円
 - (2)大極殿遺蹟保存協賛会 文化活動補助 40,000円
 - (3)森本遺蹟保存会 文化活動補助 19,000円
 - (4)物集女城を考える会 文化活動補助 19,000円
 - (5)府指定文化財 鶏冠井題目踊保存会 後継者育成補助 35,000円
 - (6)市指定文化財 鶏冠井シャンボウ保存会 後継者育成補助 35,000円
- 3 民間団体との連携・協力
 - (1)市民団体行事及び向日市まつりでの埋蔵文化財出土遺物展示

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

1 文化財の普及啓発の取組



(2)史跡長岡宮跡
朝堂院公園史跡案内(通年)



(3)物集車塚古墳石室一般公開
(平成28年5月24日～31日)



(4)市民考古学講座(全6回)



(5)発掘調査現地説明会
(平成28年8月11日、10月15日、平成29年1月28日)



(6)「スライドで見る乙訓の発掘」
(平成29年3月5日)



(7)埋蔵文化財調査成果展示会
(平成28年9月10日～10月10日)



(8)長岡宮絵灯路
(平成28年11月12日)



(9)「長岡宮の大極殿・朝堂院」
(平成29年3月4日～26日)



(10)歴史講座(第1回)
(平成28年12月4日)



(11)「武者人形と天神人形」
(平成28年4月2日～5月29日)



(12)夏休み子ども歴史教室
「かぶとを作って西岡衆を学ぶ」
(平成28年7月26日、27日)

2 民間団体への助成・支援



(1)大極殿祭開催状況



(2)森本遺跡顕彰祭開催状況
(平成28年11月6日)



(3)鶏冠井題目踊披露状況
(平成28年5月3日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
「かぐやのタベ」大賞 国交省「手づくり郷土賞」 乙訓から2件		H28.4.18	京都新聞
向日の土器や古墳紹介 市民体育館PRセンター開設		H28.4.18	京都新聞
稚児ら巡行 平安祈る 向日神社「還幸祭」		H28.5.9	京都新聞
長岡京の歴史 歩いて実感 向日でイベント春宮坊や築地跡など		H28.5.15	京都新聞
農業用水を安定確保 向日市「上植野頭首工」45年ぶり改修完了		H28.5.17	京都新聞
歴まち計画 史跡知って 向日市、ガイドマップ製作		H28.5.23	京都新聞
かつての長岡宮の姿に歓声 第5向陽小児童 タブレット端末で体験		H28.6.14	京都新聞
ポロシャツ製作市職員アピール 「長岡京」中心があったのは向日市		H28.6.20	京都新聞
長岡宮のあった場所は「向日市」正解率5割強 若者や市外へPR強化を		H28.7.20	京都新聞
常夜燈移設、観光振興に 2基、案内板も整備		H28.7.22	京都新聞
古代の装飾品作ろう 向日市文化資料館 3、4日に体験会		H28.7.23	京都新聞
大極殿など一部復元へ 向日市歴史観光の目玉に		H28.8.5	京都新聞
長岡宮・大極殿院 柱穴など出土		H28.8.10・11	京都新聞、朝日新聞、産経新聞毎日新聞、読売新聞
長岡京発掘の情熱語る 向日で講演会 わだち跡、造営時か		H28.9.18	京都新聞
手作りかかし旭米守ってね 第2向陽小児童ら設置		H28.9.20	京都新聞
長岡宮造営の足跡「里帰り」を 山城郷土資料館保管の牛車わだち実物大模型		H28.9.15	京都新聞
首長血縁者？の埴輪棺 系譜意識強さ示す		H28.10.14	京都新聞
夕闇に光の長岡宮 向日・朝堂院 市民ら遷都PR		H28.11.11	京都新聞
長岡京の歴史 後世につなげ 向日で大極殿祭 雅楽や舞奉納		H28.11.12	京都新聞
はばたけ乙訓観光 長岡宮跡 向日市 西国街道 乙訓2市1町		H29.1.1	京都新聞
物集女城跡 柱穴や溝発見 構造解明の手掛かりに		H29.1.27	京都新聞
真新しい竹 陽光に映え 向日「竹の径」		H29.2.2	京都新聞
遺跡巡り向日史を体感		H29.2.12	京都新聞
歴史文化や市政に挑戦、盛況 向日市ふるさと検定 初開催		H29.2.14	京都新聞
「菩薩半跏像 唐の影響」模刻像作者が特徴解説		H29.3.5	京都新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・前年度に作成したロゴマーク、キャッチコピーの活用や、初めて開催した「向日市ふるさと検定」等を通じ、向日市歴史・文化資源を広くPRすることができた。 ・発掘調査によって発見された貴重な史跡、古墳が取り上げられるとともに、関連する講習会や歴史文化交流センター等の施設の整備効果とあいまって、向日市の歴史を広くアピールすることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1

その他(効果等)

		評価対象年度	平成28年度
項目			
「第1回 向日市ふるさと検定」実施			
計画に記載している内容	ふるさと向日市を特徴づける多様な資産は、長い歴史の中で生まれ、先人たちにより大切に育まれてきた。 この貴重な財産を有する向日市への関心喚起を図ることで市民の皆様のふるさと向日市に対する愛着を高めるとともに、地域全体として観光客などへのおもてなしの心を養うことで、地域の魅力をより多くの方に知っていただき、地域の活性化につなげるため、「向日市ふるさと検定」を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
本市の歴史、文化、観光など、市に関すること全般に係る検定を実施(平成29年2月) ・受検者数 803人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成28年度第2回向日市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:平成29年3月24日 13:30~15:00	
(コメントの概要) ○向日神社周辺整備事業として休憩所を整備したことで、多くの方の憩いの場となっている。参拝者をはじめ、ハイキングをされる方など、向日神社を利用される方が増えているように思う。 ○進行管理・評価シートからは、まじめに事業に取り組んでいることが感じられるが、様々な事業の実施により心躍るような効果があったことを示すことができるよう、定性的評価の在り方や手法等、協議会で広く議論することが必要ではないか。 ○景観法に基づく景観条例を策定することは時間がかかるため、地区計画や建築協定などを検討してはどうか。 ○富永屋、須田家住宅の歴史的建造物活用事業については、拙速に折衝を進めるのではなく、所有者の都合に寄り添った「見守る」という選択肢も必要ではないか。 また、日にち限定、時間限定などの公開等も含めて折衝を進めてはどうか。 ○まち歩きにおいて、ルート上の情報案内板の果たす役割は非常に大きい。また、ルート上のトイレは、ハイキングにまち歩きにおいて最初に調べることであり、そのまちが綺麗かどうかの指標となるものである。整備に注力してほしい。 ○文化資料館では、様々な催しを行っており、非常に興味深い。さらに事業を進めていってもらいたい。	
(今後の対応方針) ○市内を楽しみながら、安心、安全に歩くことができるよう、案内板やトイレ等の整備を進めるとともに、本市の歴史性を広く伝えるため、様々な事業を実施していく。 ○歴史まちづくりの進捗を市民にわかりやすく伝えるため、事業に係る評価、特に定性的評価の手法について研究を行う。	